

伊賀市「事務事業評価」結果総括シート〔2次評価シート〕

(1)政策	コード	名称
	15	(2)生涯を通じて生きがいを持てるまちづくり

(2)基本施策	コード	名称	(3)生活課題	35	豊かな文化・芸術に触れることができる
	35	③文化・芸術により、豊かな感性と創造性を育む			

(4)評価実施年度	平成 20 年度
-----------	----------

(5)評価責任者職名	企画振興部長
------------	--------

(6)評価責任者氏名	中嶋 孝
------------	------

(7)評価者	伊賀支所長
--------	-------

(9)継続・新規 (20.21.22.23)	コード	(10)事務事業名	コード	(11)担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H21投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)		1次評価結果								
					H19 決算額	H20 予算額・ 補正要求額	H21 要求見込額	人	人件費	(14)指標名	指標の数値		個別評価				(23)総合評価	(24)方向性		
											(15) 19年度 (実績)	(16) 21年度 (目標)	(17)指標の単位	(18)評価類型	(19)必要性	(20)有効性			(21)達成度	(22)効率性
継続	116-2	文化振興一般経費(市民管弦楽団運営補助事業)	040200	企画振興部文化国際課	100	0	300	0.1	720	演奏会入場者数	650	680	人	I	3	3	4	3	C	現状維持
継続	117-1	美術展覧会運営経費(市民美術展覧会)	040200	企画振興部文化国際課	865	947	846	0.3	2,160	出品者数	175	180	人	I	4	3	4	3	A	現状維持
継続	117-2	美術展覧会推進経費(子ども文化フェスティバル)	040200	企画振興部文化国際課	950	808	808	0.1	720	参加者数	900	1,100	人	I	4	3	3	3	A	現状維持
継続	118	文化祭開催経費	040200	企画振興部文化国際課	2,140	2,240	2,240	0.2	1,440	参加団体数	100	100	団体	I	3	3	3	3	C	現状維持
継続	124	俳句のくにづくり拠点施設建設事業	040200	企画振興部文化国際課	1,182	9,219	25,500	0.3	2,160	検討委員会の開催回数	6	7	回	II	4	4	4	4	A	現状維持
継続	125	芭蕉祭執行等経費	040200	企画振興部文化国際課	10,994	10,097	10,097	0.6	4,320	芭蕉翁献詠俳句投句数	41,191	45,000	句	I	4	2	3	3	C	変更
継続	126	しぐれ忌執行等経費	040200	企画振興部文化国際課	326	326	326	0.1	720	参加者数	440	450	人	I	4	4	3	4	A	現状維持
継続	570	先賢顕彰費	550100	伊賀支所総務振興課	364	297	315	0.01	72	横光利一顕彰事業参加者数	85	85	人	I	4	3	4	3	A	現状維持
継続	2005	沖森文庫目録編さん事業	040200	企画振興部文化国際課	1,631	1,558	3,457	0.2	1,440	本の発行	完了			I	4	4	4	4	A	現状維持
21新規	2102	「ミュージカルおくのほそ道」開催経費	040200	企画振興部文化国際課	0	0	1,000	0.1	720	入場者数		1,500	人	I	3	4		4	A	

2次評価										(33)その他の改革改善点について
(25)1次評価修正有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28)改革改善案修正の有・無	(29)修正点	(30)優先度区分	(31)方向性	(32)方向性の評価について			
有	方向性の現状維持を縮小に修正する。	寄付金の範囲内で補助しているが、補助目的が達成されている。制度のあり方を含め、検討が必要。			4G	d				寄付金の範囲で当面補助するとしても、制度のあり方を検討する必要がある。
					2G	b				旧上野市の応募にかたよっている。市民全ての応募になるよう取り組みを進める。
					2G	b				
有	方向性の現状維持を変更に修正する。	伊賀市全体の参加者による文化祭となるよう、実行委員会組織の委員構成及び事務局等について検討を進める。			3G	C				伊賀市一体とした参加による事業展開を図る。
					1G	a				重点化事業としての充実を図る。 本年度基本計画策定を進める。
有	有効性の2を3に、達成度の3を2に修正し、総合評価のCをBとし、方向性の変更を現状維持とする。	(財)芭蕉翁顕彰会への委託は必要と考える。生誕地伊賀市を県内外へ広く発信するため、更なる事業内容の充実を図る。			1G	b				コスト削減には限界と考える。コストを維持し、事業の充実を図る。
					2G	f				将来的に顕彰事業は芭蕉祭に統合する方向で検討を進める。
					4G	C				横光公園の維持管理を除き、顕彰事業についてはコスト削減を図る。
					3G	C				印刷部数の検討を行い、コスト削減を図る。
					1G	b				21年度単年度での成果向上を目指す。